

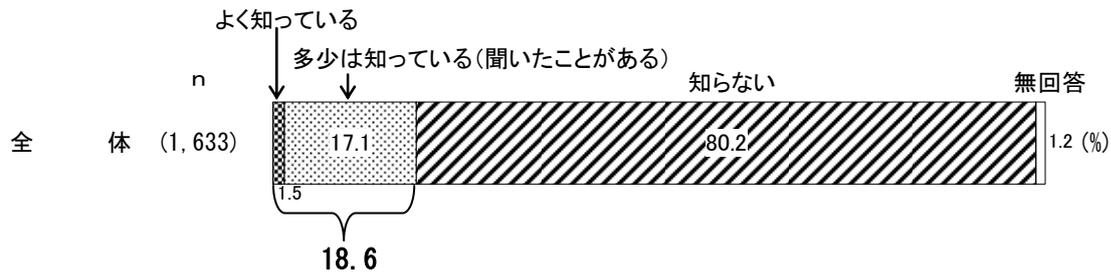
## 2 健康と福祉について

### (1) 「新たな地域福祉像」の認知度

◇『知っている』は約2割、「知らない」が8割

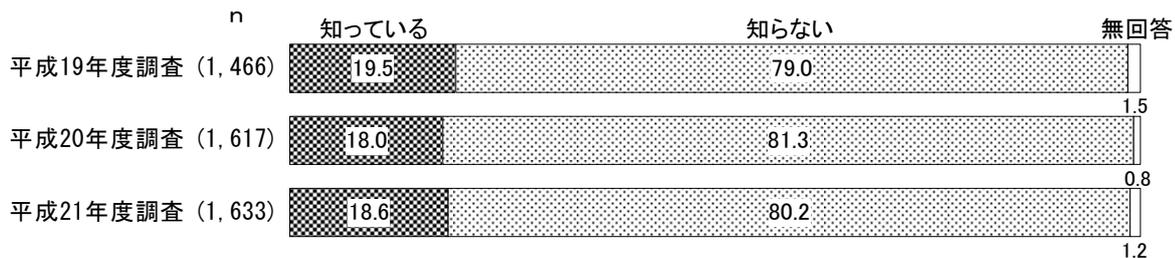
問9 あなたは、平成16年3月に県が策定・公表した「千葉県地域福祉支援計画」で示された「新たな地域福祉像」（誰もが、ありのままに、その人らしく、地域で暮らすことができる）について知っていますか。（○は1つ）

<図表2-1> 「新たな地域福祉像」の認知度



「新たな地域福祉像」の認知度を聞いたところ、「よく知っている」(1.5%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(17.1%)を合わせた『知っている』(18.6%)は約2割となっている。一方、「知らない」(80.2%)は8割である。(図表2-1)

〔参考〕平成19年度・平成20年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



#### 【地域別】

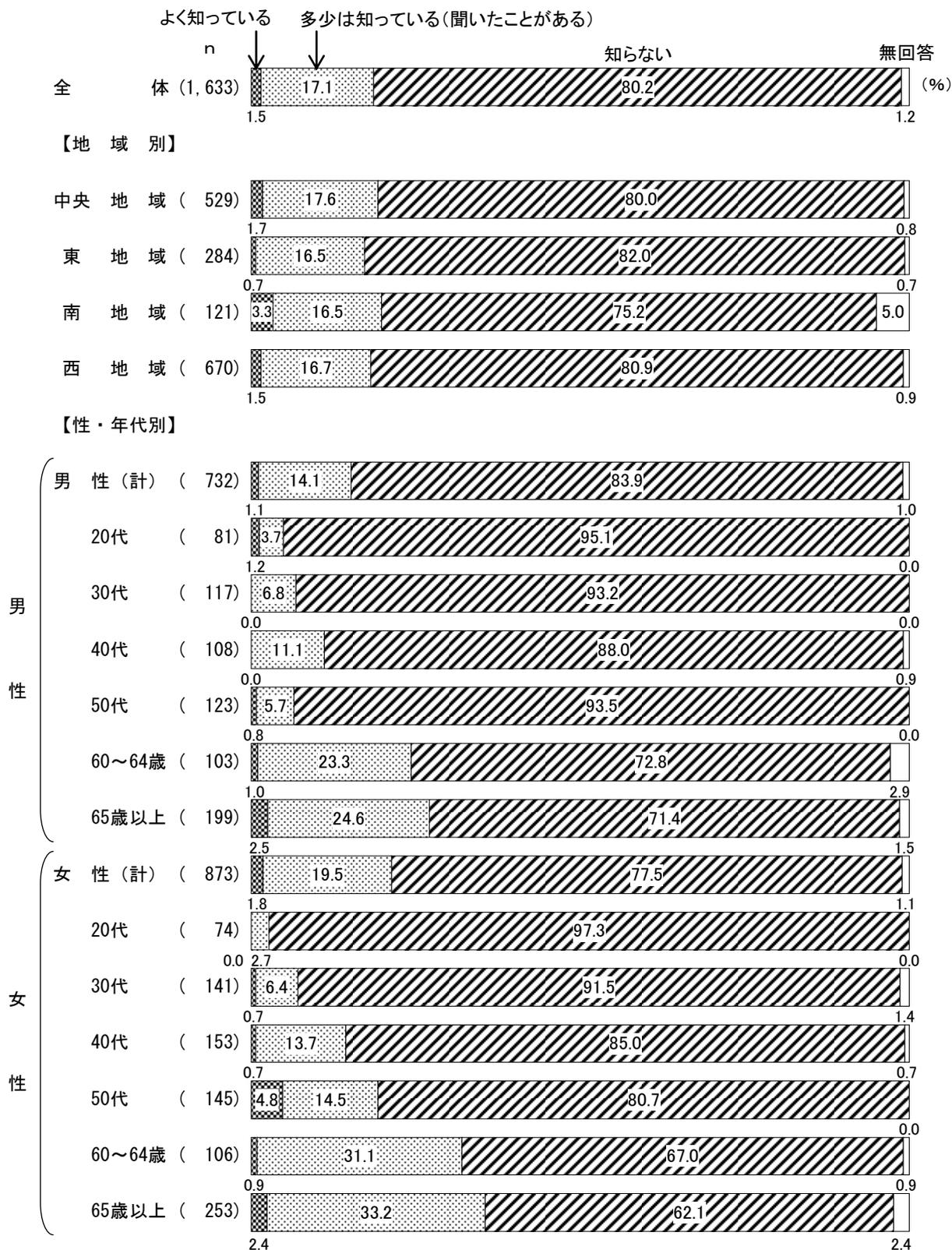
地域別にみると、『知っている』、「知らない」ともに地域による大きな差はみられない。

(図表2-2)

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』は、男女ともにおおむね年代が上がるほど認知度が高くなる傾向がみられ、特に、男性の65歳以上(27.1%)が約3割、女性の65歳以上(35.6%)が3割台半ば、女性の60~64歳(32.0%)が3割を超え他の年代に比べて高くなっている。(図表2-2)

<図表 2-2> 「新たな地域福祉像」の認知度／地域別、性・年代別



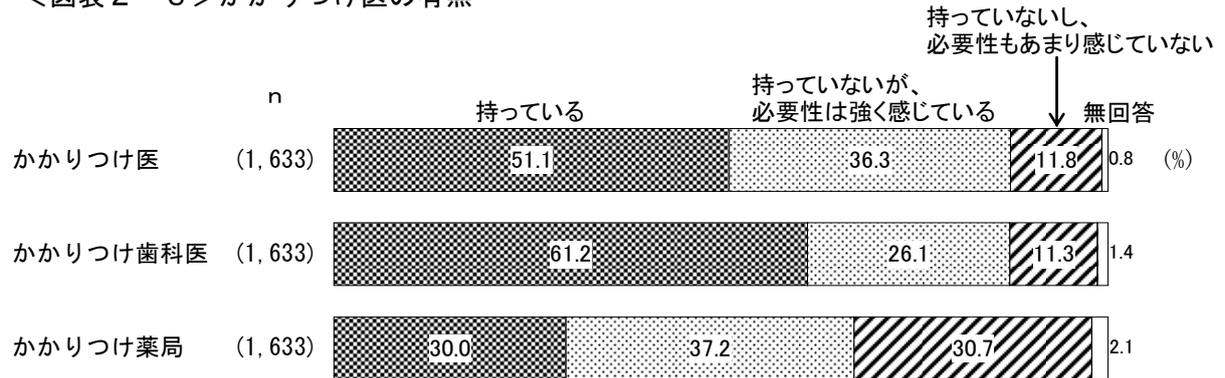
## (2) かかりつけ医の有無

◇かかりつけ歯科医を持っているが6割を超え、かかりつけ医を持っているが5割を超える

問10 あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要などときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師（歯科医・薬局）を、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」と呼んでいます。

あなたは、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」をお持ちですか。（○はそれぞれ1つずつ）

<図表2-3>かかりつけ医の有無

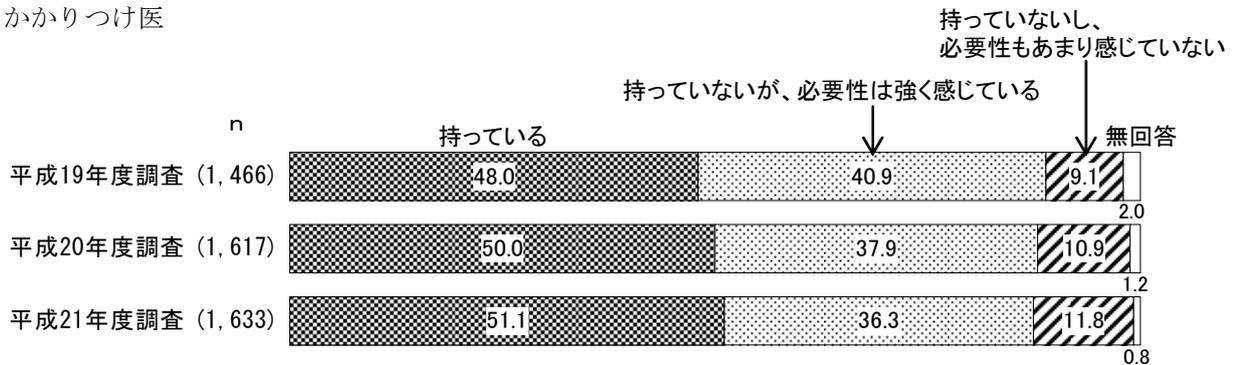


かかりつけの医師、歯科医、薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は歯科医（61.2%）で6割を超え、医師（51.1%）で5割を超えるが、薬局（30.0%）では3割である。また、「持っていないが、必要性は強く感じている」は医師（36.3%）と薬局（37.2%）で4割弱となっている。「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は薬局（30.7%）で3割となっている。

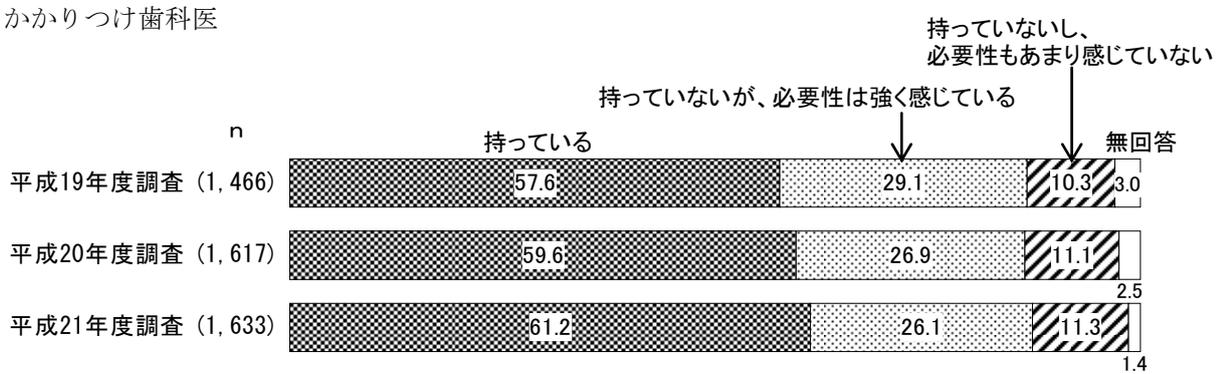
（図表2-3）

【参考】平成19年度・平成20年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

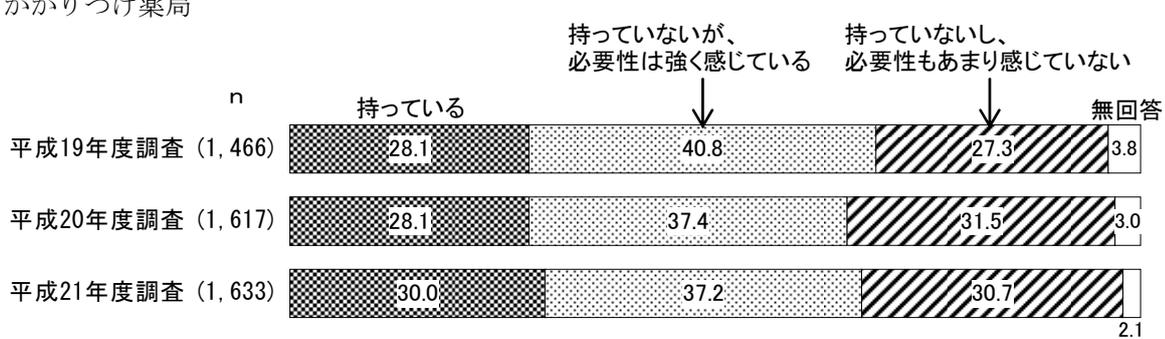
かかりつけ医



かかりつけ歯科医



かかりつけ薬局



【地域別】

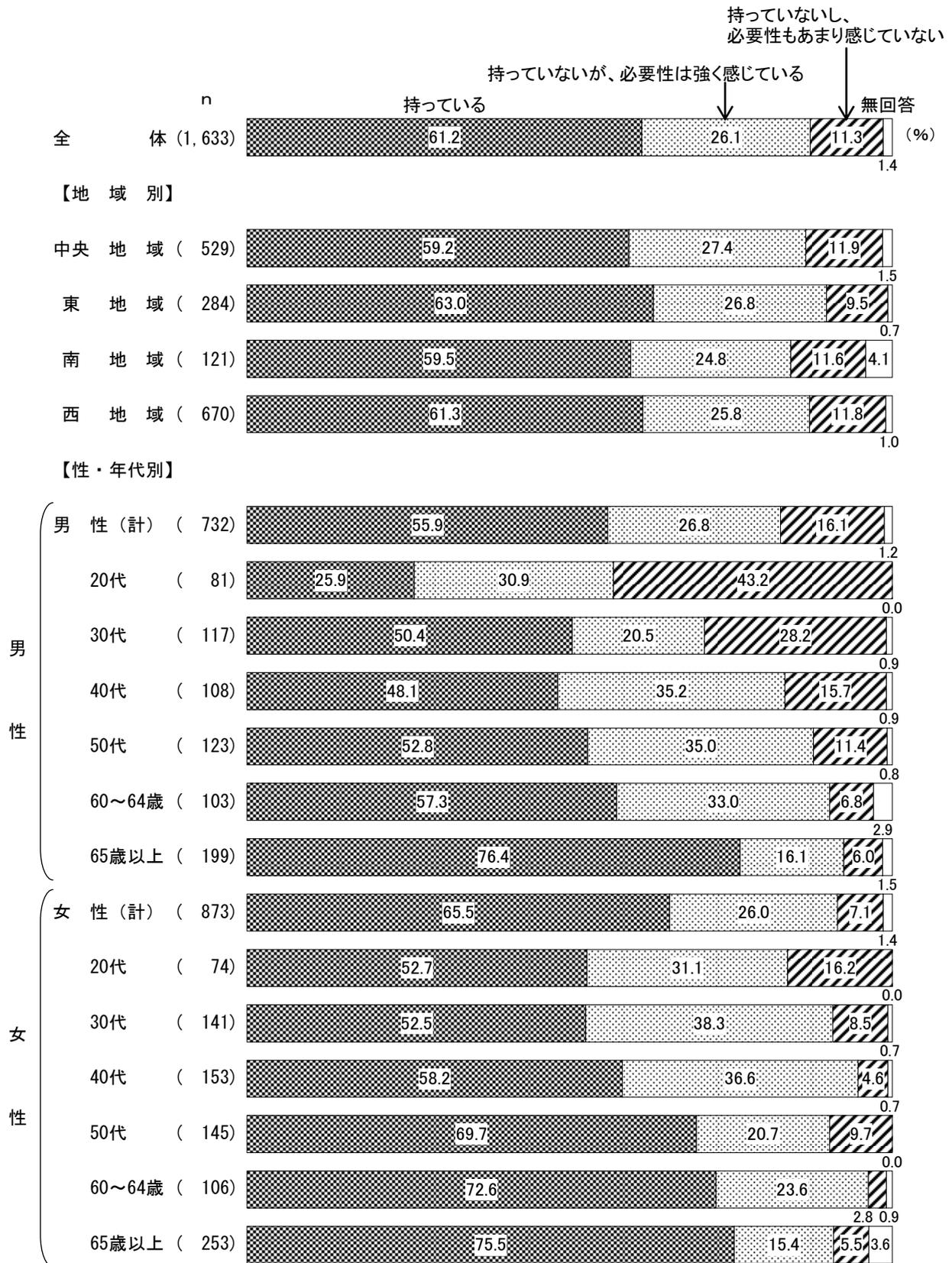
地域別にみると、かかりつけ医、かかりつけ歯科医を「持っている」は“東地域”（54.6％、63.0％）が他の地域に比べて高くなっている。かかりつけ薬局を「持っている」は“南地域”（35.5％）が3割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。（図表2-4）

【性・年代別】

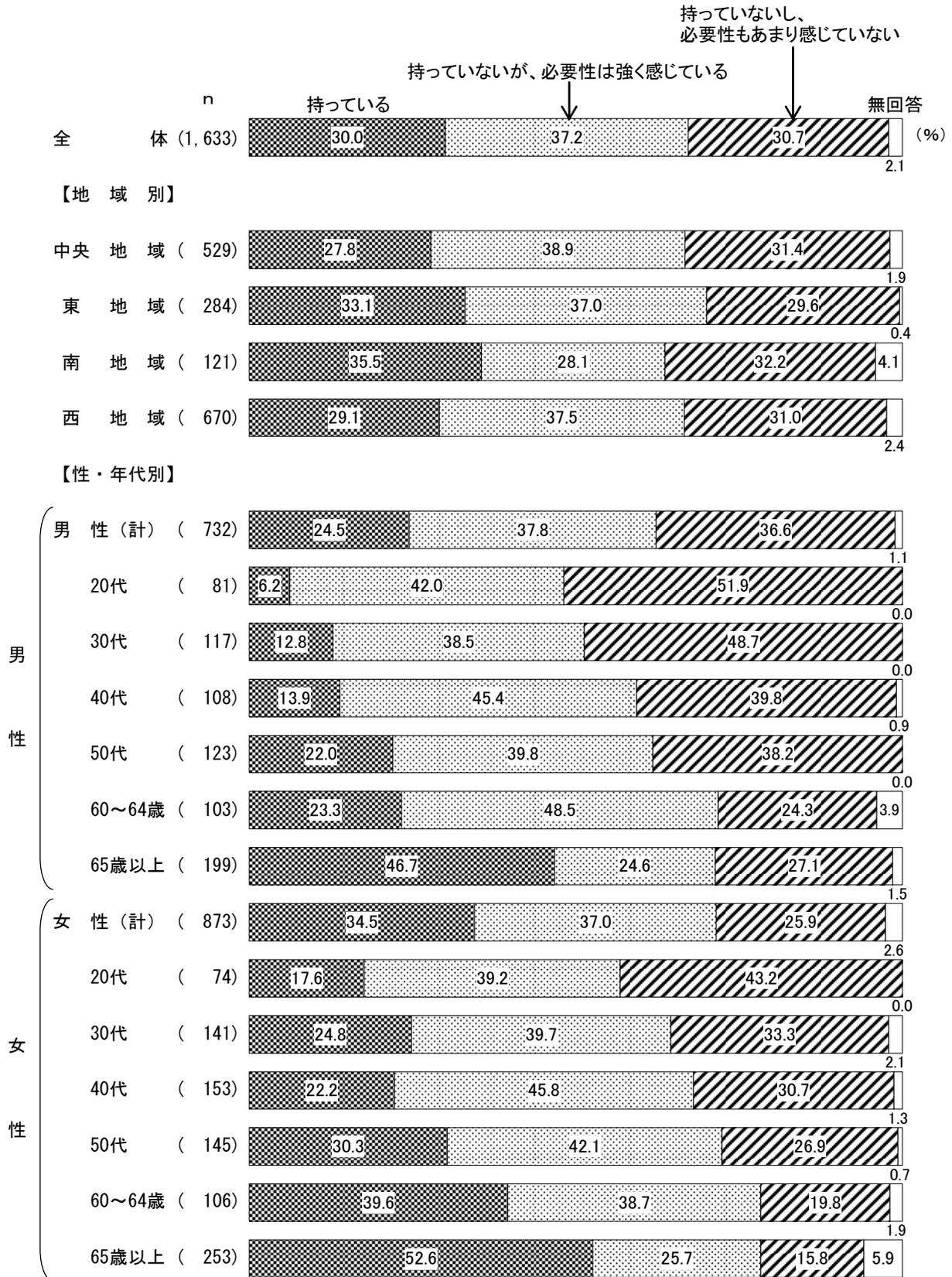
性・年代別に見ると、かかりつけ医を「持っている」は女性の65歳以上（77.1％）が約8割、かかりつけ歯科医を「持っている」は男性の65歳以上（76.4％）が7割台半ばで他の年代と比べて高くなっている。かかりつけ薬局を「持っている」は女性の65歳以上（52.6％）が5割を超え他の年代と比べて高くなっている。（図表2-4）



《かかりつけ歯科医》

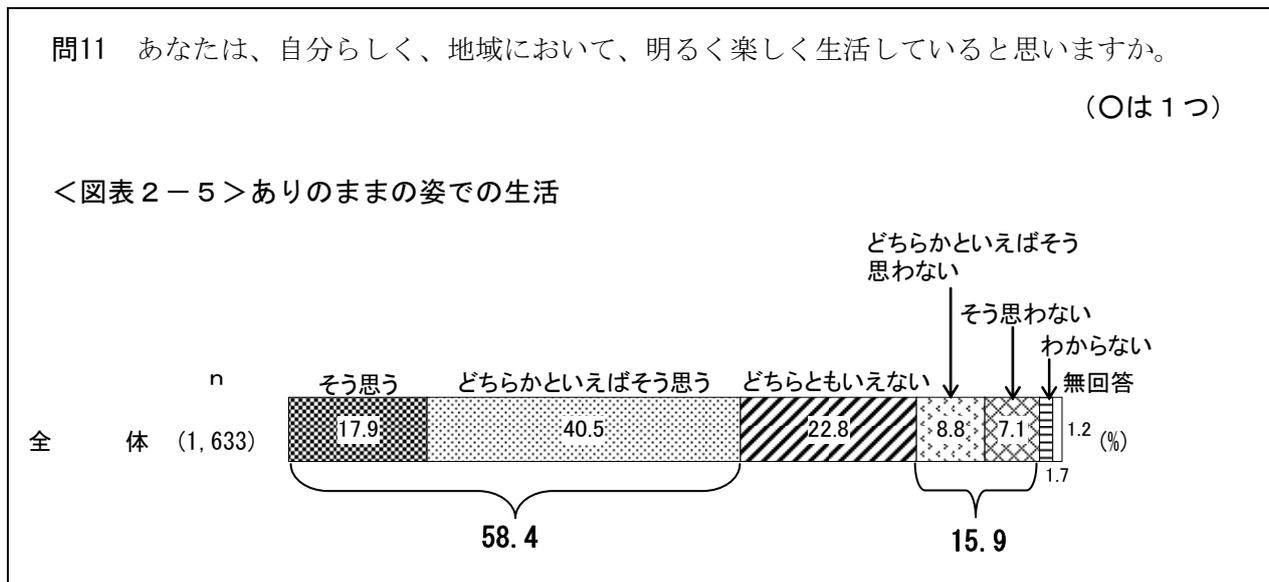


《かかりつけ薬局》



### (3) ありのままの姿での生活

◇『そう思う』が約6割



自身がありのままの姿で生活していると思うか聞いたところ、「そう思う」(17.9%)と「どちらかといえばそう思う」(40.5%)を合わせた『そう思う』(58.4%)が約6割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(8.8%)と「そう思わない」(7.1%)を合わせた『そう思わない』(15.9%)は1割台半ばとなっている。(図表2-5)

【参考】平成19年度・平成20年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)

n	そう思う	そう思わない	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成19年度調査 (1,466)	58.7	15.6	25.7
平成20年度調査 (1,617)	56.9	16.4	26.7
平成21年度調査 (1,633)	58.4	15.9	25.7

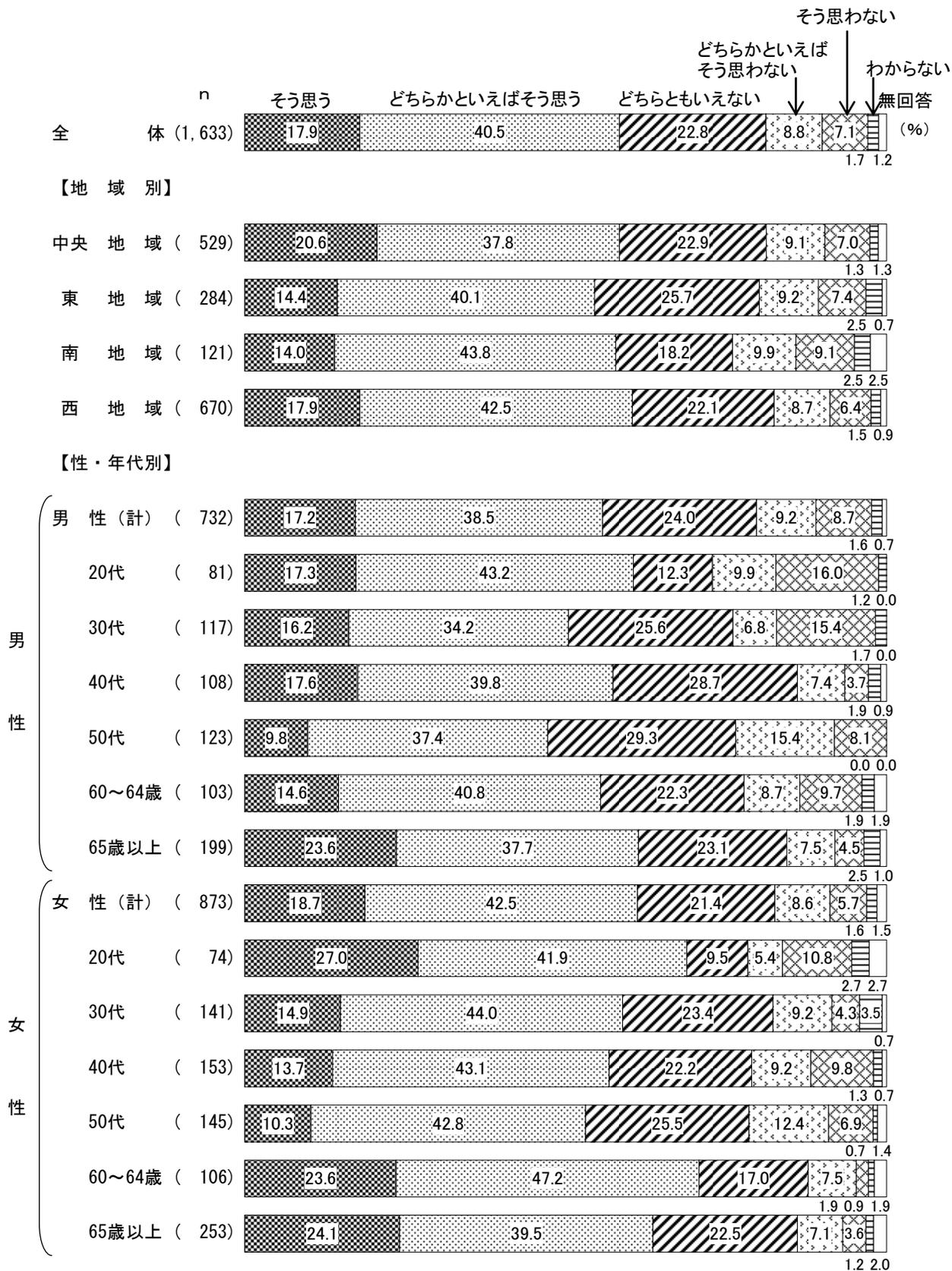
#### 【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“西地域”(60.4%)が6割で他の地域に比べて高くなっている。  
(図表2-6)

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は女性の60~64歳(70.8%)が7割で他の年代に比べて高くなっている。一方、『そう思わない』は男性の20代(25.9%)が2割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表2-6)

<図表2-6>ありのままの姿での生活／地域別、性・年代別

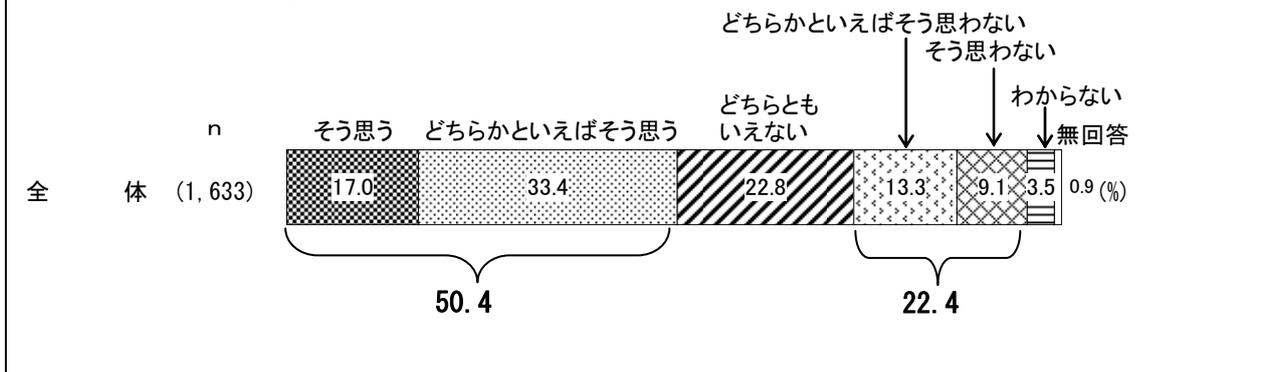


## (4) 健康づくりに取り組むことができる環境

◇『そう思う』が5割

問12 あなたは、自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思いますか。(○は1つ)

<図表2-7>健康づくりに取り組むことができる環境



自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(17.0%)と「どちらかといえばそう思う」(33.4%)を合わせた『そう思う』(50.4%)は5割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(13.3%)と「そう思わない」(9.1%)を合わせた『そう思わない』(22.4%)は2割を超える。(図表2-7)

〔参考〕平成19年度・平成20年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)

n	そう思う	そう思わない	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成19年度調査(1,466)	47.8	24.2	28.0
平成20年度調査(1,617)	46.1	23.5	30.4
平成21年度調査(1,633)	50.4	22.4	27.2

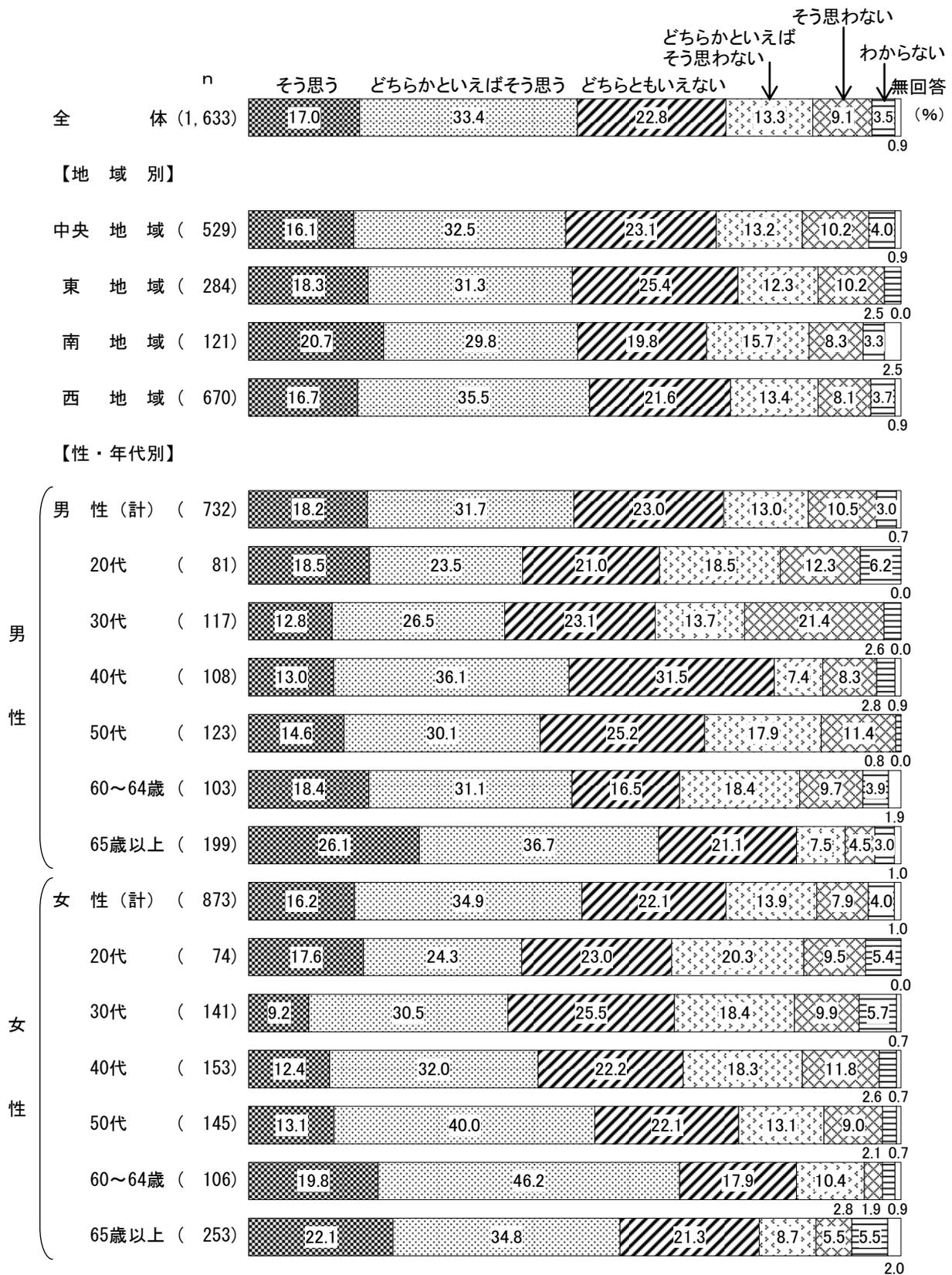
### 【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“西地域”(52.2%)が5割を超え他の地域に比べて高くなっている。(図表2-8)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は女性の60~64歳(66.0%)が6割台半ば、男性の65歳以上(62.8%)が6割を超え他の年代に比べて高くなっている(図表2-8)

<図表2-8>健康づくりに取り組むことができる環境／地域別、性・年代別



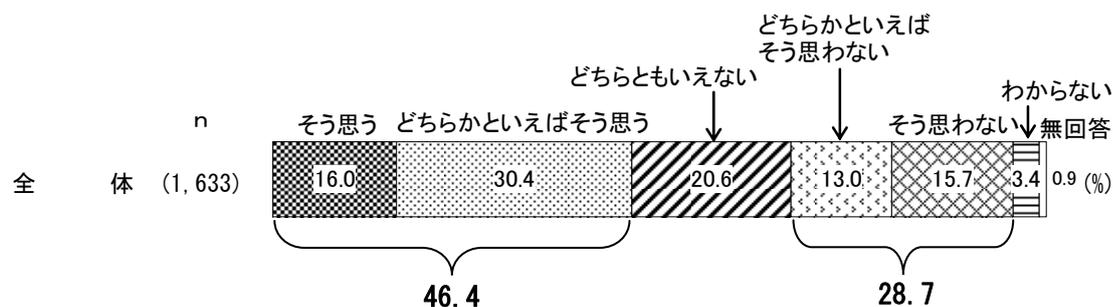
## (5) 安心して受診できる医療体制

◇『そう思う』は4割台半ば

問13 あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。

(○は1つ)

<図表2-9>安心して受診できる医療体制



住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制が整っていると思うか聞いたところ、「そう思う (16.0%) と「どちらかといえばそう思う」(30.4%) を合わせた『そう思う』(46.4%) は4割台半ばである。一方、「どちらかといえばそう思わない」(13.0%) と「そう思わない」(15.7%) を合わせた『そう思わない』(28.7%) は約3割である。(図表2-9)

【参考】平成19年度・平成20年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)

n	そう思う	そう思わない	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成19年度調査 (1,466)	41.4	32.0	26.6
平成20年度調査 (1,617)	41.4	31.9	26.7
平成21年度調査 (1,633)	46.4	28.7	24.9

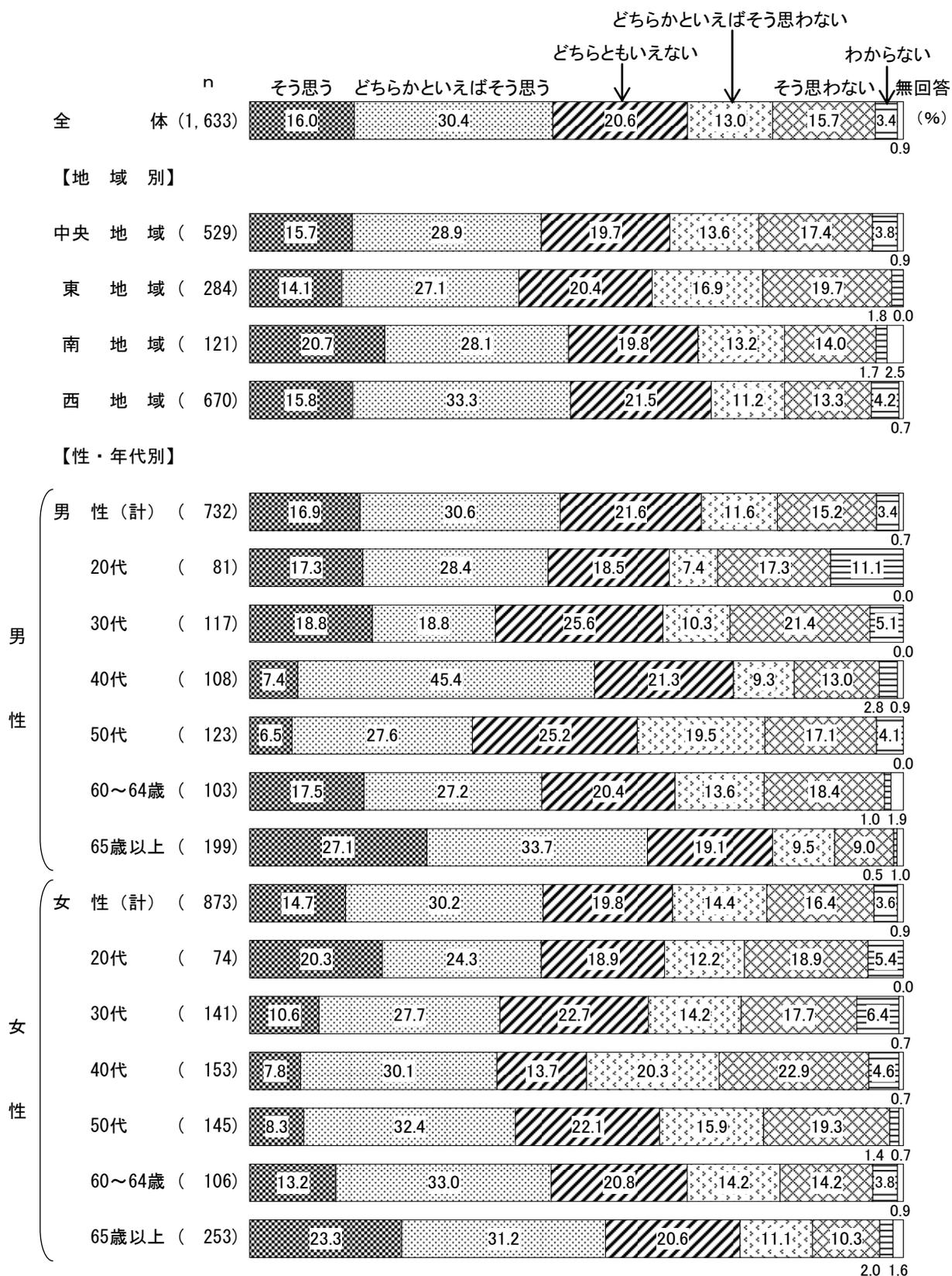
### 【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“西地域”(49.1%)、“南地域”(48.8%)が約5割で他の地域に比べて高くなっている。(図表2-10)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性の65歳以上(60.8%)が6割、女性の65歳以上(54.5%)が5割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表2-10)

<図表2-10>安心して受診できる医療体制／地域別、性・年代別



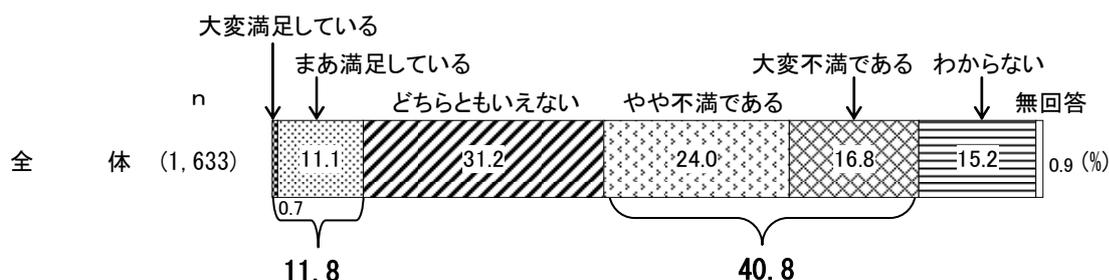
## (6) お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についての満足度

◇『満足している』が1割を超え、『不満である』が4割

問14 あなたは、お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策について満足していますか。

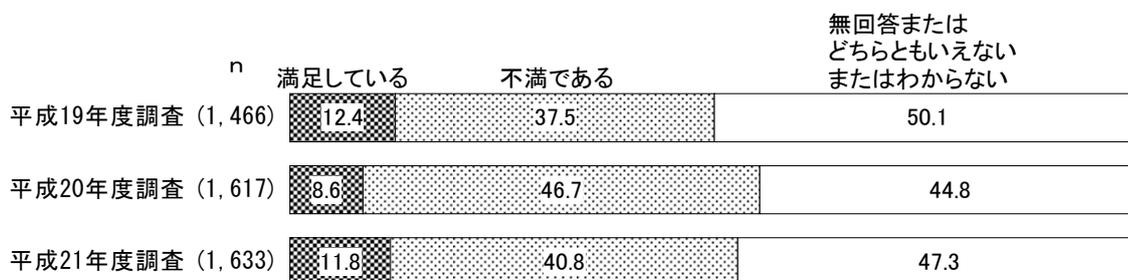
(○は1つ)

<図表2-11> お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についての満足度



お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についての満足度を聞いたところ、「大変満足している」(0.7%)と「まあ満足している」(11.1%)を合わせた『満足している』(11.8%)が1割を超える。一方、「やや不満である」(24.0%)と「大変不満である」(16.8%)を合わせた『不満である』(40.8%)は4割となっている。(図表2-11)

〔参考〕平成19年度・平成20年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位：%)



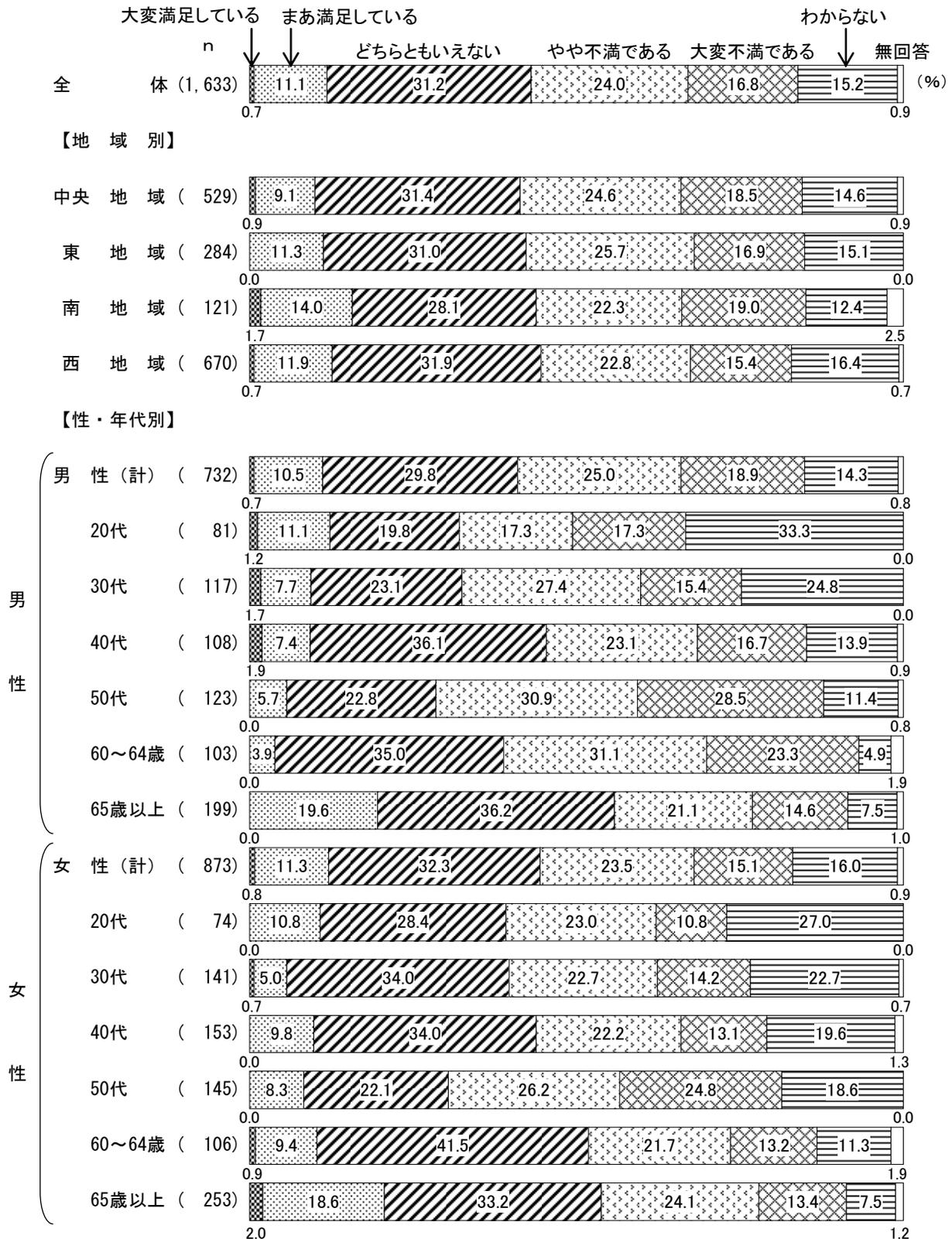
### 【地域別】

地域別にみると、『満足している』はすべての地域で1割台となっている。(図表2-12)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は女性の65歳以上(20.6%)が2割、男性の65歳以上(19.6%)が約2割で他の年代に比べて高くなっている。一方、『不満である』は男性の50代(59.4%)が約6割、女性の50代(51.0%)が5割を超え、他の年代に比べて高くなっている。(図表2-12)

<図表2-12>お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についての満足度／地域別、性・年代別

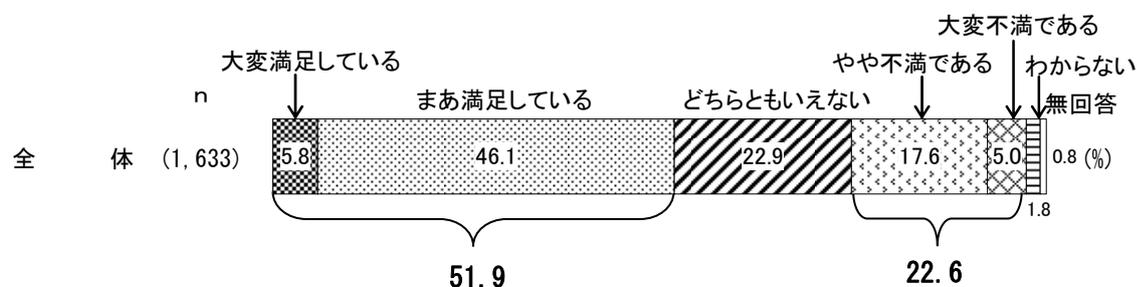


## (7) 自分や家族の健康についての満足度

◇『満足している』が5割を超える

問15 あなたは、自分や家族の健康について満足していますか。(○は1つ)

<図表2-13> 自分や家族の健康についての満足度



自分や家族の健康についての満足度を聞いたところ、「大変満足している」(5.8%)と「まあ満足している」(46.1%)を合わせた『満足している』(51.9%)は5割を超える。一方、「やや不満である」(17.6%)と「大変不満である」(5.0%)を合わせた『不満である』(22.6%)は2割を超える。

(図表2-13)

〔参考〕平成19年度・平成20年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成19年度調査 (1,466)	51.1	21.2	27.7
平成20年度調査 (1,617)	50.3	25.1	24.5
平成21年度調査 (1,633)	51.9	22.6	25.5

### 【地域別】

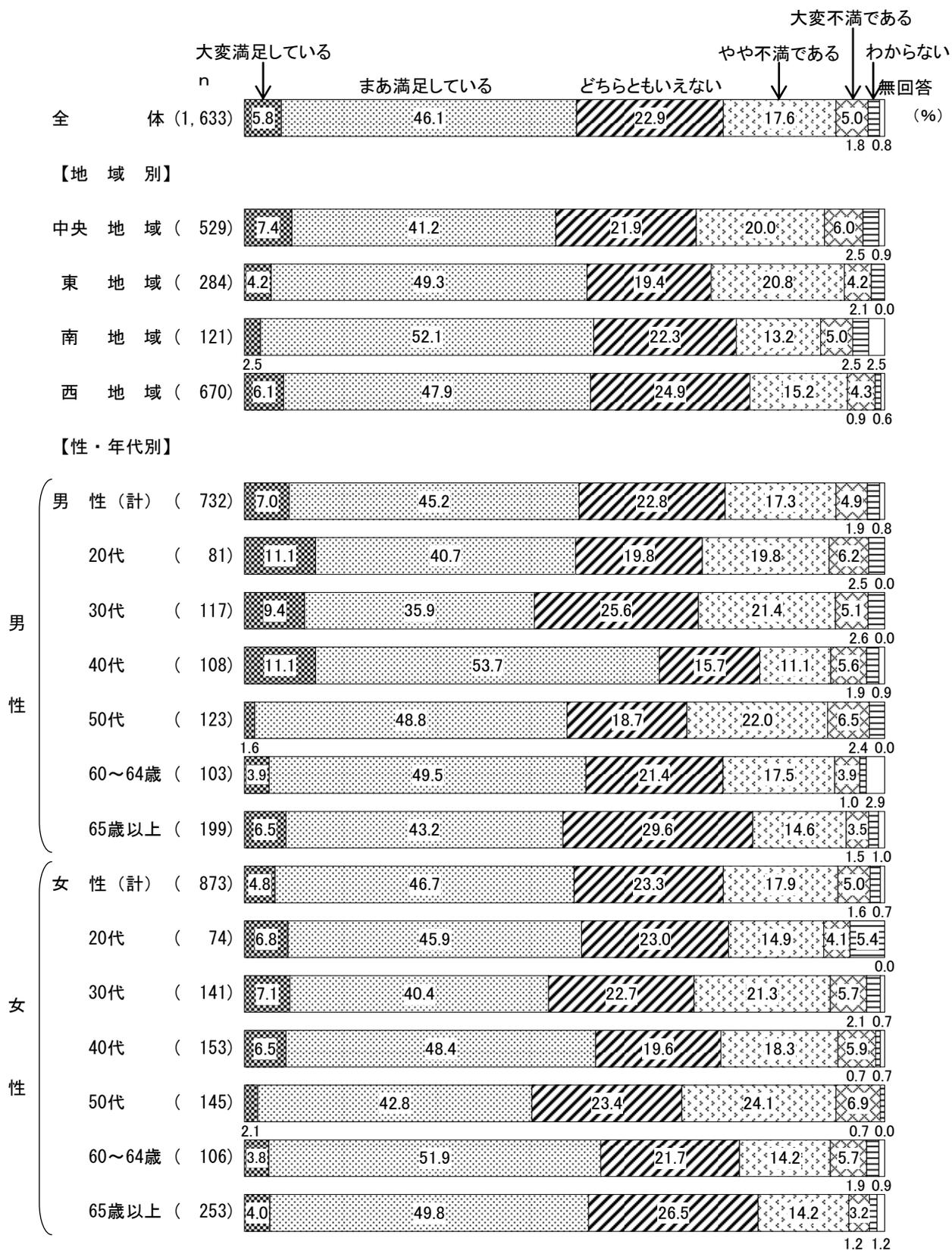
地域別にみると、『満足している』は“中央地域”(48.6%)以外の地域で5割台半ばとなっている。

(図表2-14)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は、男性の40代(64.8%)が6割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表2-14)

<図表 2-14> 自分や家族の健康についての満足度／地域別、性・年代別

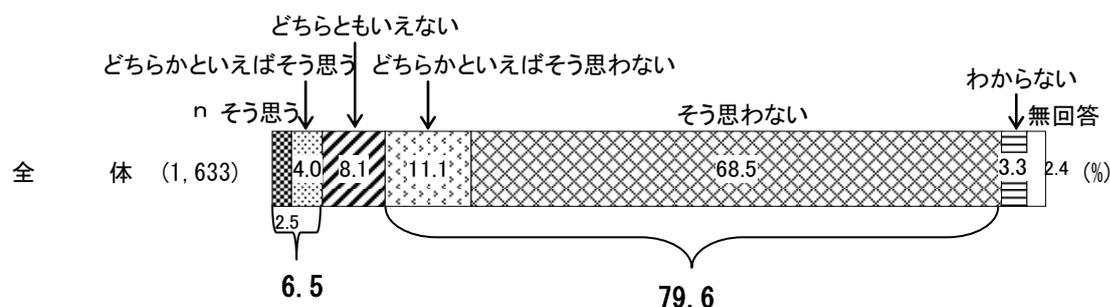


## (8) 理不尽な理由による差別等

◇『そう思わない』は約8割

問16 あなたは、自分が日常生活の中で、理不尽な理由によって差別等の辛い目に遭っていると思いますか。(○は1つ)

<図表2-15>理不尽な理由による差別等



自分が理不尽な理由によって差別等の辛い目に遭っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(2.5%)と「どちらかといえばそう思う」(4.0%)を合わせた『そう思う』(6.5%)は1割未満となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(11.1%)と最も多い「そう思わない」(68.5%)を合わせた『そう思わない』(79.6%)は約8割となっている。(図表2-15)

【参考】平成19年度・平成20年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)

調査年度	n	そう思う	そう思わない	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成19年度調査	(1,466)	7.3	80.0	12.7
平成20年度調査	(1,617)	7.1	79.1	13.9
平成21年度調査	(1,633)	6.5	79.6	13.8

### 【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は地域による大きな差はみられない。(図表2-16)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性の40代(12.1%)が1割を超え他の年代に比べて高くなっている。(図表2-16)

<図表2-16> 理不尽な理由による差別等／地域別、性・年代別

